

【様式1別紙1-5】設備

廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業  
実施計画書（設備の高効率化改修を行う事業）

記入漏れ無きよう必ず記入すること。

記入例は青文字となっておりますが黒文字にて記入すること。

事業名		〇〇〇〇〇空調設備の高効率化改修を行う事業				
代表事業者	団体概要	団体名	△△県〇〇市立病院			
		法人番号（半角）	XXXXXXXXXXXX			
		所在地	〒XXX-XXXX	△△県〇〇市丸の内1-1		日本産業分類コードを記入すること。
		主な業務内容	地域医療・介護・保健・福祉	産業分類	831	
		事業実施責任者・役職	注) 団体の代表権を付与された者で、申請者と同一であること 院長 □□ 太郎			
	資本金	注) 民間企業の場合のみ記入 事業実施責任者は応募申請書の申請者と同一にすること。 役職は記入漏れの無いよう必ず記入すること。 また、様式1に記載の役職名と同一にすること。 例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長、理事等				
	事務連絡先	部署				
		役職	事務長			
		氏名	△△ 次郎	フリガナ	×× ジロウ	
		勤務先住所	〒XXX-XXXX	△△県〇〇市丸の内1-1		
電話番号		XX-XXXX-XXXX	FAX番号	XX-XXXX-XXYY		
E-mail	XXXXXX@XXX.XX.jp					
共同事業者	団体名	事業実施責任者				
	法人番号（半角）	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail	
事業実施場所等	注) 事業実施場所名を記入する。また、異なる区画・異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、各施設の関連性を記入する。 △△県〇〇市立病院					
区画住所	△△県〇〇市丸の内1-1					
施設概要	<名称・主な業務内容> △△県〇〇市立病院：地域医療・介護・保健・福祉		建物用途区分	08260		
	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類	A01		
対策名称	交換	空調ファン用電動機 の交換			「対策の名称」のみを記入すること。 対策個票・交換の「対策の名称」と同一にすること。	
	追加	空調台数制御部品 の追加				
施設概要	<名称・主な業務内容> 注) 同施設の中で、複数設備の部品交換等を申し込む場合には、必要に応じて行を追加すること。		建物用途区分	「対策の名称」のみを記入すること。 対策個票・追加の「対策の名称」と同一にすること。		
	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類			
対策名称	交換					
	追加					
区画住所	注) 隣接・近隣区画にある異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、必要に応じて行を追加すること。					
施設概要	<名称・主な業務内容>		建物用途区分			
	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類			
対策名称	交換					
	追加					

事業の目的	<p>* 本補助金を申し込むに至った経緯（何故設備自体の入れ替えを選択しなかったか等）を記入する。  設備を導入して7年経過し、最新の設備と比較すると性能が低下し、経年劣化もあり電力料金の負担が増加している。設備全体の入替も検討したが予算の関係上困難であると判断した。経年劣化した空調ファン用電動機などの部品交換をする事により、当初の性能以上の効率を確保する事により、効率的に電力使用量の低減を図りたい。  更に空調台数制御部品を追加する事により、空調機器運転の台数適正化を図り、効率的に電力使用量の低減を図りたい。</p>																										
事業の性格	<p><b>【事業のモデル・実証の性格】</b> * 補助事業のモデル性や実証の性格について具体的に記入する。  当病院ではこのような事業を行った経験が無いので、低コストでCO2排出量削減を実現できる省エネルギー実証のモデル事業となる。</p> <p><b>【補助事業の今後の活用・展開の見通し】</b> * 補助事業が今後の自身の省CO2対策や設備投資計画にどのように活用・展開されることが期待されるか具体的に記入する。  本事業を当病院で実施し効果が実証されれば、当病院の他の施設、市内の民間事業所にも水平展開することにより環境へのCO2の排出の抑制に貢献したい。</p>																										
事業の効果	<p><b>【CO2削減効果】</b></p> <table border="1" data-bbox="395 846 1517 907"> <tr> <td>事業による直接効果 (各対策個票のCO2削減量の合計を記入する。)</td> <td>20.2</td> <td>CO2トン/年</td> </tr> </table> <p><b>【事業の資金回収・利益の見通し】</b></p> <table border="1" data-bbox="395 952 1517 1102"> <tr> <td>①補助事業のインシヤルコストのうち自己負担額</td> <td>3,451,869</td> <td>円 (*自動計算)</td> </tr> <tr> <td>②補助事業による年間の光熱費の減少額 (各対策個票の減少額の合計を記入する。)</td> <td>700,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>③ ①の回収見込み年数 (①/②年)</td> <td>4.9</td> <td>年 (*自動計算)</td> </tr> </table> <p><b>【費用対効果】</b></p> <table border="1" data-bbox="395 1146 1517 1328"> <tr> <td>本事業によるCO2削減量 / 補助基本額</td> <td>3.2</td> <td>kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)</td> </tr> <tr> <td>本事業によるCO2削減量 / 補助金額</td> <td>6.3</td> <td>kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)</td> </tr> <tr> <td>設備全体を更新した場合の総額</td> <td>65,000,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>本事業によるCO2削減量 / 設備全体を更新した場合の総額</td> <td>0.3</td> <td>kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)</td> </tr> </table>			事業による直接効果 (各対策個票のCO2削減量の合計を記入する。)	20.2	CO2トン/年	①補助事業のインシヤルコストのうち自己負担額	3,451,869	円 (*自動計算)	②補助事業による年間の光熱費の減少額 (各対策個票の減少額の合計を記入する。)	700,000	円	③ ①の回収見込み年数 (①/②年)	4.9	年 (*自動計算)	本事業によるCO2削減量 / 補助基本額	3.2	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)	本事業によるCO2削減量 / 補助金額	6.3	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)	設備全体を更新した場合の総額	65,000,000	円	本事業によるCO2削減量 / 設備全体を更新した場合の総額	0.3	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)
事業による直接効果 (各対策個票のCO2削減量の合計を記入する。)	20.2	CO2トン/年																									
①補助事業のインシヤルコストのうち自己負担額	3,451,869	円 (*自動計算)																									
②補助事業による年間の光熱費の減少額 (各対策個票の減少額の合計を記入する。)	700,000	円																									
③ ①の回収見込み年数 (①/②年)	4.9	年 (*自動計算)																									
本事業によるCO2削減量 / 補助基本額	3.2	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)																									
本事業によるCO2削減量 / 補助金額	6.3	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)																									
設備全体を更新した場合の総額	65,000,000	円																									
本事業によるCO2削減量 / 設備全体を更新した場合の総額	0.3	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)																									
事業の実施体制	<p>* 補助事業の実施体制について、補助事業者内の施行管理や経理等の体制を含め記入する。</p> <table border="1" data-bbox="395 1350 1517 1429"> <tr> <td>事業の責任者</td> <td>X X X X X</td> <td>X X</td> <td>X X</td> </tr> <tr> <td>事業担当者</td> <td>X X X X X</td> <td>X X</td> <td>X X</td> </tr> <tr> <td>経理の担当者</td> <td>X X X X X</td> <td>X X</td> <td>X X</td> </tr> </table>			事業の責任者	X X X X X	X X	X X	事業担当者	X X X X X	X X	X X	経理の担当者	X X X X X	X X	X X												
事業の責任者	X X X X X	X X	X X																								
事業担当者	X X X X X	X X	X X																								
経理の担当者	X X X X X	X X	X X																								
資金計画	<p>* 補助事業に要する経費を支払うための資金の調達計画及び調達方法を記入する。  自己資金にて事業を実施する。</p> <p><b>【補助対象経費の調達先】</b> * いずれかに○を付ける。  ○① 補助事業者自身      ② その他</p>																										
事業実施スケジュール	<p>* 事業の実施スケジュールを記入する。事業スケジュールは別紙を添付してもよい。  9月ごろ着工予定～準備が整い次第施工～11月末工事完了～12月末事業完了</p>																										
他の補助金との関係	<p>* 他の国の補助金等への応募状況等を記入する。  なし</p>																										

(実施計画書 添付資料)

別添の対策個票に加え、次の3点の資料（複数施設を申請する場合には④（及び⑤））を添付すること。

- ①建物の登記簿謄本（原本）（発行から3ヶ月以内）
- ②施設の図面及び竣工日が分かる資料
- ③施設の外観全体像及び内部が確認できる写真
- ④1区画内において、各施設の位置関係が分かる地図等
- ⑤（複数区画にまたがる場合）各区画の位置関係が把握できる地図等

【様式1別紙1－5別添（対策個票・交換）】設備

廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業

（設備の高効率化改修を行う事業）

対策個票（交換） 1

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号	1																	
対策の名称	* 実施計画書に記載した名称と同じ名称を記入する。 空調ファン用電動機の交換																	
対象設備の概要	【基本情報】 用途 : 室内の冷暖房 エネルギー種別 : 電力 定格出力 : 合計 590kW 導入時期 : 平成20年 法定耐用年数 : 13年 1日及び1年の稼働時間 : 1日15時間 1年間約4700時間																	
	【メンテナンス実施体制・実施状況】 *メンテナンス実施者、実施頻度、直近のメンテナンス実施時期及びその内容について記入する。 メンテナンス実施者: XXXX部 XX XX、 実施頻度: 月1回、直近のメンテナンス実施時期: H29年4月 内容: 調整、点検、整備、清掃																	
対策内容	【部品の交換】 * 実施する理由及びその内容を記入する。 下記部品交換及び交換部品のチューニングにより、当初の性能以上の効率を確保する。 経年劣化した空調用コンプレッサ及びファン用電動機などの部品を改良した最新の部品に交換する事により、当初の性能以上の効率改善を行う。また、制御基板の圧縮機制御プログラムで交換部品に合わせたチューニングを行うことにより、効率的に電力使用量の低減を図りたい。																	
	①交換する部品名 ②導入する部品の製造メーカー ③型式 など ④導入する部品の数量 <table border="1"> <thead> <tr> <th>①部品名</th> <th>②製造メーカー</th> <th>③型式 など</th> <th>④数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調ファン用電動機</td> <td>XXXX 製</td> <td>AAAAA/BBBBB/CCCCCC/DDDDD</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量	空調ファン用電動機	XXXX 製	AAAAA/BBBBB/CCCCCC/DDDDD	27							
①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量															
空調ファン用電動機	XXXX 製	AAAAA/BBBBB/CCCCCC/DDDDD	27															

光熱費・CO2削減効果

活動種別	単価		排出係数		備考
	価格	単位	係数	単位	
系統電力	20	¥/kWh	0.000579	t-CO2/kWh	
都市ガス		¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油		¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油		¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油		¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油		¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス (LPG)		¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス (LNG)		¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス (LNGを除く)		¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量 (年間)				単位	光熱費削減費 ¥	CO2排出削減量 t-CO2	備考
	設備導入当初	現状 (P)	改修後 (A)	削減量 (P-A)				
系統電力	428,000	433,000	421,000	12,000	kWh	240,000	6.9	
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス (LPG)					t			
液化天然ガス (LNG)					t			
天然ガス (LNGを除く)					1,000Nm3			
年間合計						240,000	6.9	

(対策個票添付資料)

①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料

- ・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等
- ・対象設備のシステム図や配置図

②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。

**廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業**  
**（設備の効率化改修を行う事業）**  
**対策個票（追加） 2**

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

<b>対策番号</b>	2																	
<b>対策の名称</b>	* 実施計画書に記載した名称と同じ名称を記入する。 空調台数制御部品の追加																	
<b>対象設備の概要</b>	<b>【基本情報】</b> 用途 : 室内の冷暖房 エネルギー種別 : 電力 定格出力 : 合計 590kW 導入時期 : 平成20年 法定耐用年数 : 13年 1日及び1年の稼働時間 : 1日15時間 年間約4700時間																	
	<b>【メンテナンス実施体制・実施状況】</b> *メンテナンス実施者、実施頻度、直近のメンテナンス実施時期及びその内容について記入する。 メンテナンス実施者: XXXXX部 XX XX、実施頻度: 月1回、直近のメンテナンス実施時期: H29年4月 内容: 調整、点検、整備、清掃																	
<b>対策内容</b>	<b>【部品の追加】</b> * 実施する理由及びその内容を記入する。 空調台数制御部品を追加する事により、空調機器運転の台数適正化を図り、効率的に電力使用量の低減を図りたい。																	
	①追加する部品名 ②導入する部品の製造メーカー ③型式 など ④導入する部品の数量 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">①部品名</th> <th style="width: 30%;">②製造メーカー</th> <th style="width: 30%;">③型式 など</th> <th style="width: 10%;">④数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調台数制御部品</td> <td>YYYYYY 製</td> <td>EEEEEE</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量	空調台数制御部品	YYYYYY 製	EEEEEE	1							
①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量															
空調台数制御部品	YYYYYY 製	EEEEEE	1															

**光熱費・CO2削減効果**

活動種別	単価		排出係数		備考
	価格	単位	係数	単位	
系統電力	20	¥/kWh	0.000579	t-CO2/kWh	
都市ガス		¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油		¥/k1	2.49	t-CO2/k1	
軽油		¥/k1	2.58	t-CO2/k1	
A重油		¥/k1	2.71	t-CO2/k1	
B・C重油		¥/k1	3.00	t-CO2/k1	
液化石油ガス(LPG)		¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス(LNG)		¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス(LNGを除く)		¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

**光熱費・CO2削減効果**

活動種別	活動量(年間)				単位	光熱費削減費	CO2排出削減量	備考
	設備導入当初	現状(P)	改修後(A)	削減量(P-A)		¥	t-CO2	
系統電力		433,000	410,000	23,000	kWh	460,000	13.3	
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					k1			
軽油					k1			
A重油					k1			
B・C重油					k1			
液化石油ガス(LPG)					t			
液化天然ガス(LNG)					t			
天然ガス(LNGを除く)					1,000Nm3			
<b>年間合計</b>						460,000	13.3	

(対策個票添付資料)

①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料

- ・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等
- ・対象設備のシステム図や配置図

②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。

【様式1別紙2-5】設備

廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業  
(設備の高効率化改修を行う事業)

経費内訳

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	6,637,869 円	0 円	6,637,869 円	6,373,889 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7)×補助率
	— 円	6,373,889 円	6,373,889 円	3,186,000 円

補助対象経費支出予定額内訳

1000円未満の端数は切り捨てすること。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費		金額の算出根拠が明確になるように詳細に記入し、見積書等と対比できるようにすること。	* 見積書との照合番号
本工事費			
材料費	1,792,889		
交付規程『別表第2』の経費区分・費目・細分に従って記入すること。		762,889 ファン用電動機等	<1>
		1,030,000 台数制御部品	<2>
		見積書中の番号と一致させること。	
労務費	2,086,000		
		1,985,000 ファン用電動機等の交換	<3>
		101,000 台数制御部品取付	<4>
現場管理費	570,000		
		530,000 ファン用電動機等の交換	<5>
		40,000 台数制御部品取付	<6>
一般管理費	665,000		
		600,000 ファン用電動機等の交換	<7>
		65,000 台数制御部品取付	<8>
測量及び試験費	1,260,000		
		1,110,000 ファン用電動機等の交換	<9>
		150,000 台数制御部品取付	<10>
合計	6,373,889		

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
ファン用電動機等	冷房/暖房能力 590kW	1	4,987,889	4,987,889	H29年11月
台数制御部品	台数制御部品	1	1,386,000	1,386,000	H29年11月
	この金額は「ファン用の電動機等」の材料費のみでなく労務費、現場管理費、一般管理費、測量及び試験費等を含む金額にすること。				

注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。

設備

■日本標準産業分類コード

「数字3桁」を記入する。

例)病院 ⇒ 831

■建築基準法:建築物用途区分コード

「数字5桁」を記入する。

例)病院 ⇒ 08260

■設備の種類分類コード表

「アルファベット1文字と数字2桁」を記入する。

例)換気設備 ⇒ B01

ここを転記する。



大分類		中分類	
A	空気調和設備	A01	空調熱源設備・システム
		A02	空気調和設備の搬送機
		A03	その他
B	換気設備	B01	換気設備
		B02	その他
C	給湯設備	C01	給湯熱源設備・システム
		C02	熱媒体輸送管
		C03	その他
D	冷蔵・冷凍設備	D01	冷蔵・冷凍設備
		D02	その他
E	ボイラー設備	E01	ボイラー
		E02	ボイラー関連・付属設備
		E03	その他
F	燃焼設備	F01	燃焼設備
		F02	その他
G	熱利用設備	G01	熱回収設備
		G02	熱交換器
		G03	蒸留塔
		G04	加熱設備
		G05	蓄熱装置
		G06	廃熱回収設備
		G07	熱媒体輸送管
		G08	その他
H	電気設備	H01	受変電設備
		H02	モーター
		H03	その他
J	その他	J01	その他